

## 2024 年度 第 2 期 東京芸術文化創造発信助成 「カテゴリⅠ 単年助成」「カテゴリⅡ 長期助成」 「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】」 対象事業決定のお知らせ

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京では、東京の芸術文化の魅力を上向きさせ、世界に発信していく創造活動や、地域の文化や伝統芸能の振興、社会や都市のさまざまな課題に取り組む芸術活動等を支援しています。

このたび、2024 年度 第 2 期 東京芸術文化創造発信助成の対象事業を決定いたしました。

「カテゴリⅠ 単年助成」には 236 件の申請があり、**55 件**を採択いたしました(採択率 23.3%)。助成予定総額 **80,257 千円**です。うち「創作環境サポート費」は 6 件で予定総額 409 千円です。

「カテゴリⅡ 長期助成」には 48 件の申請があり、**3 件**を採択いたしました(採択率 6.3%)。このうち、今期より支援を開始した「映画のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す事業」には 12 件の申請があり、3 件を採択いたしました。助成予定総額 **7,702 千円**です。

「カテゴリⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】」には 23 件(長期助成:6 件、単年助成:17 件)の申請があり、**4 件**を採択(長期助成:2 件、単年助成 2 件)いたしました(採択率 17.4%)。助成予定総額 **5,078 千円**(長期助成:3,132 千円、単年助成:1,946 千円)です。うち「創作環境サポート費」は 1 件で予定総額 99 千円です。

### ※「サポート費」について

#### 創作環境サポート費(上限 10 万円)

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)や「東京都男女平等参画基本条例」などに関連して、アーティストや制作関係者等が、性差に関わらず、より活躍できるよう配慮や工夫をしている事業に対し、10 万円を上限として実費を支援します。

**2024 年度 第 2 期 東京芸術文化創造発信助成  
「カテゴリー I 単年助成」**

「カテゴリー I 単年助成」では、都内で実施する上演・コンサート・展示・上映・アートプロジェクト、その他の公開を伴う芸術創造活動や、海外公演・展示、国際コラボレーション、国際フェスティバル、招聘公演・展示等の国際的な芸術交流活動を対象とします。

■ 2024 年度 第 2 期「カテゴリー I 単年助成」 申請・採択件数

区分 分野	都内での芸術創造活動		国際的な芸術交流活動		申請件数	採択件数
	申請	採択	申請	採択		
音楽	59	12	16	6	75	18
演劇	66	11	3	1	69	12
舞踊	17	4	5	3	22	7
美術・映像	18	2	3	2	21	4
伝統芸能	15	9	5	1	20	10
複合	24	3	5	1	29	4
<b>合計</b>	<b>199</b>	<b>41</b>	<b>37</b>	<b>14</b>	<b>236</b>	<b>55</b>

・対象期間：2025 年 1 月 1 日以降に開始し、2025 年 12 月 31 日までに終了する事業

■ 2024年度 第2期「カテゴリーI 単年助成」採択事業 一覧

申請 236 件、採択 55 件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額(千円)	創作環境サポート費	
音楽	都内での芸術創造活動	団体	Shogirls	Shogirls響会X	631		
			YKMusic	山澤慧チェロリサイタル 邦人作曲家による作品集 第4回	1,200		
			一般社団法人東京室内歌劇場	新作オペラ「陰陽師」	1,800		
			オザワ・アート・プランニング合同会社	コンサートホールで聴く、最上のアコースティック・ミュージック・シリーズ「角銅真実アンサンブル&バンクシア・トリオ」コンサート(仮)	900		
			芥川也寸志メモリアル オーケストラ・ニッポニカ	オーケストラ・ニッポニカ 第46回演奏会 芥川也寸志生誕100年記念「畏敬・諧謔・鎮魂」	2,000		
			公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団	広上淳一&日本フィル「オペラの旅」Vol.1 ヴェルディ:オペラ《仮面舞踏会》	1,600		
			Phidias Trio	Phidias Trio vol.13 "Re-invent" (仮)	567		
			一般社団法人現代奏造Tokyo	現代奏造Tokyo 第10回定期演奏会	1,000		
			個人	大平健介	COSMIC HARMONY	500	
				藤元高輝	Che Guitarra ~現代日本のギター作品~	280	
				珊瑚ガムラン曼荼羅	珊瑚ガムラン曼荼羅	450	
				會田瑞樹	會田瑞樹パーカッションリサイタル2025	500	
	国際的な芸術交流活動	団体	ミュージック・フロム・ジャパン推進実行委員会	ミュージック・フロム・ジャパン2025年音楽祭 創立50周年シーズン	3,600		
			一般社団法人エチオピア・アートクラブ	ペンタトニック・レボリユーション Vol.1 Talk & Music LIVE - MINYO meets Ethiopia! Echoes of Two Worlds -	2,190		
			Inoyamaland Music	2025イノヤマランドロンドン公演	984		
			有限会社パツハ・コレギウム・ジャパン	パツハ・コレギウム・ジャパン ヨーロッパ公演2025	4,000		
			一般社団法人Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2025 Cabicuri in South Korea	1,600		
		個人	山本昌史	山本昌史コントラバスソロ in アスターク現代音楽祭/ヨーロッパ公演	500		
	演劇	都内での芸術創造活動	団体	一般社団法人ARICA	檜垣女	1,600	
				バストリオ	Holy cow/わたしたちは一度しかない	1,050	
いいへんじ				われわれなりのロマンティック	2,055	○	
終のすみか				終のすみか3作品同時再演(仮)	1,244	○	
合同会社マームとジプシー				マームとジプシー×川上未映子「みえるわ」(仮)	1,600		
お布団				お布団の新作演劇公演「マクベス」(仮)	1,531		
玉田企画				玉田企画新作公演	1,900	○	
妖精大図鑑				かいだん(仮)	1,600		
かるがも団地				かるがも団地 第10回本公演『砂の城』(仮)	1,142	○	
一般社団法人BOOKSO				『ドブへ』(仮)	1,600		
稲葉賀恵×一川華				『オレアナ』『リタの教育』二作同時上演	2,000		
国際的な芸術交流活動				二兎社	「片付けたい女たち」英国リーディング公演(仮)	1,589	

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額(千円)	創作環境サポート費
舞踊	都内での芸術創造活動	団体	Arche	ふりiiiiiiiiいず!!!!(仮)	1,891	○
		団体	Co.S	閨(仮)	2,000	/
		団体	合同会社AtZOO	ブッシュマン新作公演「タイトル未定」	2,000	/
	個人	鯨井謙太郎	舞踏計画: 剝製の光へ Vol.1『UBUSUNA異聞』	500	/	
	国際的な芸術交流活動	団体	山麓	Ayano Yokoyama × 34423 “/” 台北公演	1,276	/
		団体	TARINOF株式会社	TARINOF× MESSAPICA イタリア公演・日本公演	3,270	/
団体		水中めがね∞	San Francisco International Arts Festival	1,000	/	
美術・映像	都内での芸術創造活動	団体	「超分別ゴミ箱」実行委員会	「超分別ゴミ箱」プロジェクト	2,000	/
		団体	座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会	第16回 座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル	1,800	/
	国際的な芸術交流活動	団体	竹内公太プロジェクト実行委員会	竹内公太「アメリカでの調査・制作・発表」	900	/
		個人	高石晃	Brent Biennale 2025へのアーティスト高石 晃の参加と作品制作	500	/
伝統芸能	都内での芸術創造活動	団体	都山流尺八峰山会 竹の新撰組	野村峰山と竹の新撰組～伝統と創造～Vol.3	930	/
			理春会能	第2回理春会能	800	/
			一般社団法人松の会	第37回檀の会	2,000	/
			小石川邦楽事務所	長唄名曲選	576	/
			吉村七重箏研究所	吉村七重プロデュース 二十絃箏展 Vol.37 委嘱作品を中心に	840	/
			藤本昭子の会	伝承の力 古典の現在 第10回記念公演	2,000	/
			J-TRAD Ensemble MAHOROBA	J-TRAD Ensemble-MAHOROBA Concert vol.3「赦しの扉」	544	/
	個人	松永鉄九郎	長唄の会 vol.42	250	/	
		中島裕康	第5回中島裕康箏リサイタルー牧野由多可作品展ー	500	/	
		団体	一般社団法人日本尺八演奏家ネットワーク	〈World Shakuhachi Festival Texas 2025〉演奏ツアー	4,000	/
複合	都内での芸術創造活動	団体	「爆心へ」実行委員会	《爆心へ》エピソード1#東京	2,100	○
			ドキュ・メント実行委員会	ドキュ・メント2025 ～私たちは発光している～	2,000	/
		個人	黒瀧保士	電気の敵	450	/
	国際的な芸術交流活動	団体	チャーム・ポイント	シネマの再創造2	2,917	/

## ■ 2024 年度 第 2 期「カテゴリーI 単年助成」採択結果の概況

### ●音楽分野

第 2 期では過去最多となる 75 件の申請がありました。申請傾向としては、過去数回に比して、活動成熟・トップ期の活動ステージにある事業者からの申請が増え、全体の約 4 割に達しました。その中から採択となったのは、これまでの活動を振り返りつつ芸術創造活動の主体としての独自性や存在意義に言及し更なるステップアップに挑む企画、若手の育成や次世代への継承に対する新たなアプローチを試みる事業でした。また、国際的な芸術交流活動が活発となり、コロナ禍前も含め過去最多の採択件数・採択額になり、採択額はカテゴリー I 音楽分野の総額の 5 割を超えました。採択事業はいずれもヨーロッパ、アメリカ、アジア、アフリカなど国際的な場において、高い評価が期待されるとともに牽引力のある企画です。

### ●演劇分野

申請件数は前年同期比約 2 割増で昨年、一昨年に引き続き第 2 期として過去最多となりました。活動基盤形成期の申請の割合が最も大きく、初申請は全体のほぼ 5 割を占め、アーツカウンシル東京のスタートアップ助成から移行した団体は昨年と同数となっています。企画内容としては、LGBTQ におけるパートナーシップの多様なあり方を描き、恋愛感情と友情を区別しないクワロマンティックを扱う事業のほか、時代の潮流に即した翻訳戯曲の言葉の刷新により作品の新たな魅力を探求する事業、断片的なテキストや映像、音、身体をモンタージュの手法で舞台として構築し、演劇表現の拡張に取り組む事業など、独創的なテーマや手法に挑む事業のほか、創作活動の深化や活動基盤の強化、新たなカウンターパートとの協働で次のステップにつなげる事業が採択となりました。前年同期比で、国際的な芸術交流活動が減少しており、今後、意欲的な申請を期待しています。

### ●舞踊分野

例年は、申請件数及び採択件数が、第 1 期より第 2 期の方が減少する傾向にありますが、今回は微増しました。活動ステージでは、活動基盤形成期からの申請が第 1 期より増加し、活動拡大・発展期と合わせて 8 割以上を占めました。初申請から採択となった事業は、個人申請の 1 件でした。都内での芸術創造活動は、いずれも音楽家、美術家、役者、哲学者、舞踊研究家等と編成メンバーを組み、同時代性のあるテーマを設定しリサーチを行い、そこから独創性のある身体表現を創出する事業が採択となりました。国際的な芸術交流事業は、台湾と米国の国際フェスティバルから評価を得た作品の招聘公演が 2 件、イタリアのバレエ団とのクリエイションと公演を実施するダンスカンパニーの事業が 1 件採択となっています。また、申請書に具体的な事業内容が示されていないものが複数見受けられましたので、事業内容の明確な記述に留意してください。

### ●美術・映像分野

申請件数及び採択件数は今年度の第 1 期と同程度で、活動基盤形成期と活動拡大・発展期にある個人や団体からの申請が多数を占めています。採択となった事業は 4 件で、その内容には現代社会におけるプラスチックのゴミ問題や過去の戦争や歴史に関してリサーチを行い、それらを展覧会として発表するものがありました。また令和 5(2023)年度第 2 期から続く傾向として、映像・映画に関する申請で、特にドキュメンタリーに関する独自の視点をもった上映イベントを開催するものがあり、海外の芸術祭や海外での発表等、キャリアの転機となりうる国際的な事業も見られました。更に 2025 年は戦後 80 年の節目にあり、戦争をテーマにした事業に関する応募が複数あったことも特徴的でした。

### ●伝統芸能分野

今期は、当助成第 2 期の申請として最多件数となりました。この内、国際的な芸術交流活動にあたる申請が 5 件あり、コロナ禍前の水準に回復しています。ただし、申請事業全体としては、コロナ禍以来の観客減少に加え、東京における伝統芸能の上演会場休館に伴う出演する機会の減少も相まって、芸の継承や人材減少に対する危機感の強い事業が多く見受けられました。古典の上演にあたっても育成や現代社会に作品を届けるための意識が実践の工夫となって表れている事業が採択となっている傾向にあります。

### ●複合分野

オペラをはじめミュージカル、ダンス、アートイベント、演劇、レクチャー、映像、文学などさまざまな要素を取り入れた企画や、先人の創作活動を継承するためのフェスティバルの開催など、申請内容は多岐にわたりました。その中から、国際コラボレーションによる創作と上映を行う事業や、小説から着想を得て美術家や音楽家と共同制作で新作を創作する事業、過去の原爆や放射能に関する調査を元にした作品の展覧会とシンポジウムを実施するものなど、独創的な活動と見込める事業が採択となっています。

**2024年度 第2期 東京芸術文化創造発信助成  
「カテゴリーII 長期助成」**

「カテゴリーII 長期助成」では、発表活動だけでなく、作品制作のプロセスも含めて支援することで創造活動を促進するとともに、芸術団体のステップアップを後押しすることを目的に、2年間または3年間の継続的・段階的な支援を行います。

■ 2024年度 第2期「カテゴリーII 長期助成」申請・採択件数

分野	申請件数	採択件数
音楽	8	0
演劇	8	0
舞踊	2	0
美術・映像(映画)	14 (12)※	3 (3)※
伝統芸能	3	0
複合	13	0
合計	48	3

※( )内は「映画のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す事業」

・対象期間: 2025年1月1日以降に開始し、2026年12月31日までに終了する事業(2年間) 又は、  
2025年1月1日以降に開始し、2027年12月31日までに終了する事業(3年間)

■ 2024年度 第2期「カテゴリーII 長期助成」採択事業 一覧  
申請 48 件、採択 3 件

活動分野	活動内容	申請団体名	ホワイトレオターズ	1年目交付決定額(千円)	創作環境サポート費
美術・映像(映画)	映画(ポストプロ・海外映画祭)	事業名	「まさゆめ」ポストプロダクション・海外映画祭上映	2,631	/
		実施予定年数	2年		
		申請事業の概要	映画作家・ダンサーの吉開菜央が愛知芸術文化センターの委託作品として制作した長編映画「まさゆめ」の国際版のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。作品は、吉開自身が出演し、「食う」「寝る」「呼吸する」ことを見つめ直すセルフドキュメンタリー。ポストプロダクションでは俗世と体内を行き来するような立体的な7.1chの音をつくり、国際版として製作する。整音・音響は北田雅也が担う。また、「心身の健康」をテーマに、上映・ワークショップ・トークを交えたイベントを都内で実施する。		
美術・映像(映画)	映画(ポストプロ・海外映画祭)	事業名	能登半島地震復興支援記録映画『うつわよみがえる』(仮題)	1,360	/
		実施予定年数	2年		
		申請事業の概要	2024年1月1日に発生した能登半島地震の復興支援記録映画「うつわよみがえる」(仮題)のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す。数々の文化記録映画を手がけてきた井上実が監督を務め、被害を受けた輪島塗の産地において、自らも被災しながら破損した漆器を修復しようと奔走する職人の姿に密着する。ポストプロダクションでは、職人の卓越した指先の技術と漆器の質感を共に繊細に表現する映像の仕上げを行い、地震復興と文化継承の意義を国際的に発信する。また、職人の実演や輪島塗の展示、専門家によるトークを交えた上映会を都内で実施する。		

活動分野	活動内容	申請団体名	合同会社プリズムピクチャーズ	1年目交付決定額(千円)	創作環境サポート費
美術・映像(映画)	映画(ポストプロ・海外映画祭)	事業名	『石が見る夢(仮)』精神疾患とケアについての映画制作	3,711	
		実施予定年数	3年		
		申請事業の概要	映画作家・アーティストの池添俊が監督を務める長編ドキュメンタリー映画「石が見る夢(仮)」のポストプロダクションを行った後に、海外映画祭での上映を目指す。池添が数年間にわたりリサーチを行ってきた「精神疾患」を題材に描き、ケアワーカーや関係者に取材し、歴史的、社会的に抑圧されてきた人々の「声なき声」をフィルムとデジタルのメディアやボイスオーバーの手法を用いて、物事の可視性／不可視性を探る。プロデューサーを古市あきほと三好剛平が務め、撮影に米倉伸、録音・整音・MAIに松野泉が参加する。		

## ■ 2024 年度 第 2 期「カテゴリーII 長期助成」採択結果の概況

今年度のみ年 2 回の公募となった「カテゴリー II 長期助成」には、48 件の申請がありました。活動拡大・発展期の団体からの申請が最も多く、審査の結果、3 件を採択いたしました。今年度より新設された「映画のポストプロダクションを行い、海外映画祭での上映を目指す事業」のうち、作品のテーマや表現手法に独創性があり、海外映画祭を目指すための計画が具体的な事業が採択に至りました。一方で、単年で事業が完結し継続的・段階的な取り組みとはならない事業等は採択には至りませんでした。

**2024 年度 第 2 期 東京芸術文化創造発信助成  
「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】」**

「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業【長期助成】【単年助成】」では、芸術創造環境の課題に取り組む、分野全体を広く見渡した活動に対して、最長 3 年間の支援を行います。

**■ 2024 年度 第 2 期 「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」 申請・採択件数**

**【長期助成】**

分野	申請件数	採択件数
音楽	2	0
演劇	1	0
舞踊	0	0
美術・映像(映画)	1	1
伝統芸能	1	0
複合	1	1
<b>合計</b>	<b>6</b>	<b>2</b>

**【単年助成】**

分野	申請件数	採択件数
音楽	8	1
演劇	1	0
舞踊	1	0
美術・映像	5	0
伝統芸能	2	1
複合	0	0
<b>合計</b>	<b>17</b>	<b>2</b>

・長期助成対象期間:2025 年 1 月 1 日以降に開始し、2026 年 12 月 31 日までに終了する事業(2 年間) 又は、  
2025 年 1 月 1 日以降に開始し、2027 年 12 月 31 日までに終了する事業(3 年間)

・単年助成対象期間:2025 年 1 月 1 日以降に開始し、2025 年 12 月 31 日までに終了する事業

**■ 2024 年度 第 2 期 「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」 採択事業 一覧**

**【長期助成】**

申請 6 件、採択 2 件

活動分野	活動内容	申請団体名		1年目交付 決定額(千円)	創作環境 サポート費
美術・映像 (映画)	芸術創造環境の向上に資する事業	申請団体名	ドキュメンタリー・ドリームセンター	2,379	○
		事業名	ドキュメンタリー映画人よ、世界を抱け!		
		実施予定年数	2年		
		申請事業の概要	日本のドキュメンタリー映画制作者が、アジアの制作者の実践から学び、国際的な舞台で活躍するための基盤を整えることを目的とする。国内では多くの制作者が持続可能な活動を続けることが難しい。一方、アジアの制作者は柔軟な発想や積極性によって、国際的なリソースを活用しながらオリジナリティと革新性を志向した作品を生み出し続けている現状を受け、上映会やワークショップ、クロストークの実施を通じて、制作から発表までのプロセスを共有し、制作者同士の交流と情報共有を促進する。国際的な連帯を通じ、ドキュメンタリー文化全体の発展を目指すとともに、創造環境の向上を図る。		

活動分野	活動内容	申請団体名		1年目交付 決定額(千円)	創作環境 サポート費
複合	芸術創造環境の向上に資する事業	申請団体名	プロジェクト・ユングラ	753	/
		事業名	「ユングラ稽古会シリーズ」を検証する		
		実施予定年数	3年		
		申請事業の概要	振付家・ダンサーの神村恵が運営するスタジオを拠点に、アーティスト自らが発案する実験的な創作方法の仕組みをアーティスト間の連携により発展させる事業。アーティスト同士が相互に学び合える場や、「与える」「受け取る」という構造を排したアイデアの種を育てる場が不足している等の課題に取り組む。3年計画で、アーティストがファンリテーターとなり、創作のアイデアをワークショップ形式で参加者と共に探求し、ここから作品創作へと展開させ試演会を行う。事業のブラッシュアップのためオフザーバー制度を設け、創作の記録やアーティストとのトークセッション等をウェブサイト公開する。また、アーカイブとして、3年間の記録をまとめた小冊子を発行する。		



## 【単年助成】

申請 17 件、採択 2 件

活動分野	活動内容	団体/個人	申請者名	申請事業名	交付決定額 (千円)	創作環境 サポート費
音楽	芸術創造環境の向上に資する事業	団体	Novanta Quattro	オペラ公演におけるワークショップ型オーディション導入に関する実践とアーカイヴ	1,000	
伝統芸能			一般社団法人玉の緒会	桃栗会	946	

## ■ 2024 年度 第 2 期「カテゴリーⅢ 芸術創造環境の向上に資する事業」採択結果の概況

### 【長期助成】

今年度のみ年 2 回の公募となった「カテゴリーⅢ【長期助成】」には、6 件の申請があり 2 件が採択となりました。日本の映画制作者を対象に、アジアの制作者による作品の世界展開事例を学びながら、プロデュース的な発想を身につけることを目指した事業と、舞踊家の創作における孤立を課題に、アーティスト同士が連携することで新たな創作方法の仕組みをつくる事業を採択しています。

一方で、課題設定は明確であっても、解決への取り組みが不明瞭である事業や、3 年間(又は 2 年間)の計画に具体性が欠ける事業は採択には至りませんでした。

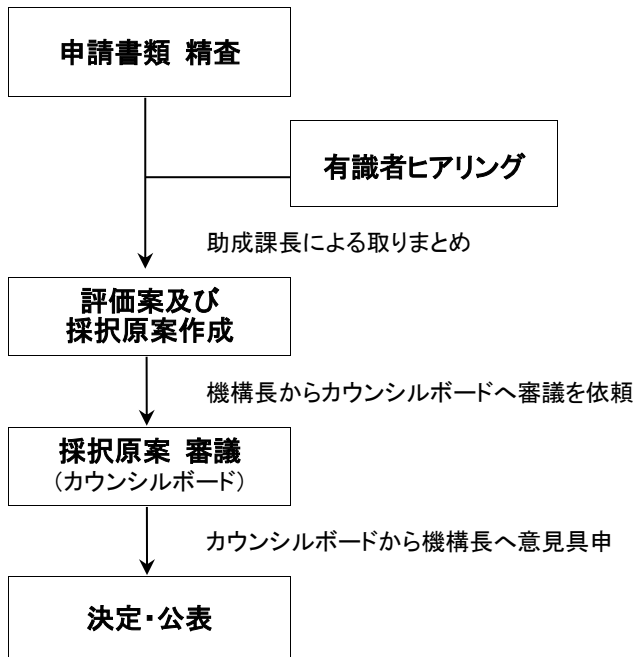
### 【単年助成】

17 件の申請があり 2 件が採択となっています。申請事業のうち、音楽分野では、オペラ公演のオーディションに関する研究を踏まえて新たなスタイルに実践的に挑戦する事業を、伝統芸能分野では、長唄の後継者の減少と専業としての困難を課題にとらえて人材育成に取り組む事業を採択しています。本カテゴリーでは、特定団体の内部課題の解決ではなく、分野全体を広く見渡した芸術創造環境の向上に繋がる取り組みが対象となります。今後も明確な課題設定のもと、芸術創造環境の向上に具体的に取り組み、分野全体への波及が見込める意欲的な企画に期待します。

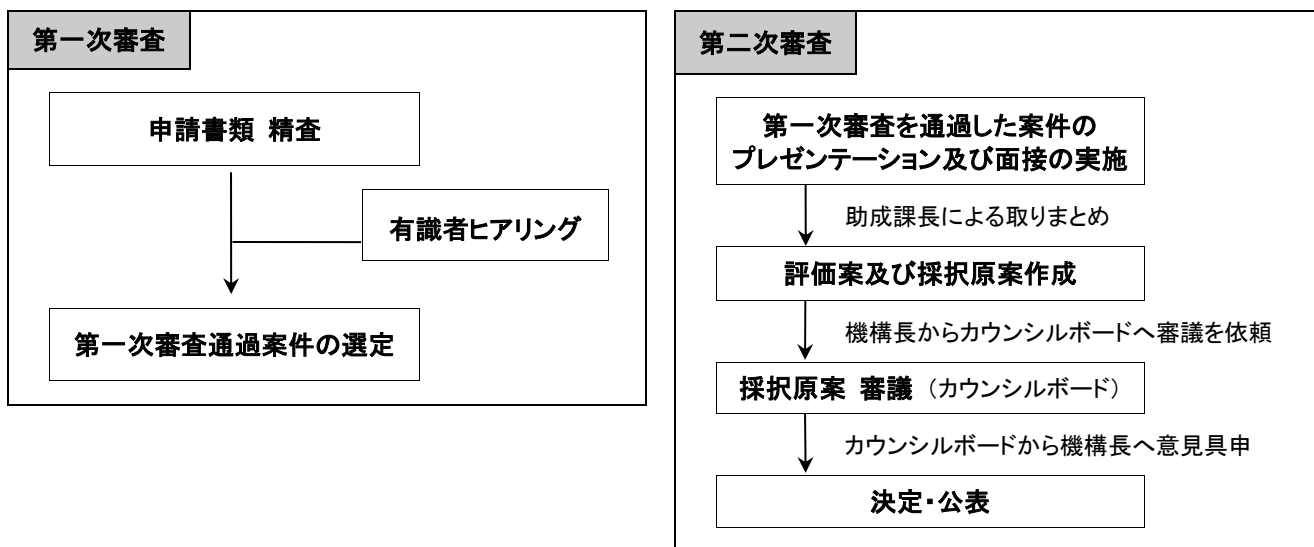
## ■ 審査プロセス

以下の審査プロセスによって、採択を決定しています。

### 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーI・カテゴリーIII【単年助成】



### 東京芸術文化創造発信助成 カテゴリーII・カテゴリーIII【長期助成】



＜本事業に関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 活動支援部助成課 担当：玉虫、浅野  
TEL：03-6256-8431 E-mail：josei@artscouncil-tokyo.jp

＜本リリースに関するお問い合わせ＞

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部広報課 広報担当：工藤、堀岡  
TEL：03-6256-8432 E-mail：press@artscouncil-tokyo.jp

<https://www.artscouncil-tokyo.jp>